

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 地域福祉の充実
 基本事業 施策の総合推進

事業名 **社会福祉センター大規模改修事業補助金**

[0752]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成18年度	実施計画事業認定	非対象
課名	福祉課	事業終了年度	平成24年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>江別市総合社会福祉センター(福祉センター) 社会福祉協議会の事務所 子ども発達支援センター 高齢者、障がい者交流の場 福祉関係団体の活動拠点</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>社会福祉協議会が所有する福祉センターの大規模改修事業に係る経費を補助する</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>大規模改修費を補助にすることより福祉センターが円滑に管理運営できるようにする</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	福祉センターの数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	0	30,030	0	18,000
活動指標2						
成果指標1	福祉センターが利用できない日数(年間)	日	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	0	30,030	0	18,000
正職員人件費(B)		千円	0	836	0	833
総事業費(A)+ (B)		千円	0	30,866	0	18,833

費用内訳	
21年度	隔年の計画のため平成21年度はなし。

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	社会福祉協議会を中心とする福祉サービス活動の拠点としての場の提供のため、昭和57年開設。開設後、25を経過し大規模改修が必要となっているため。	事業を取り巻く環境変化	福祉センターは、開設後、25年を経過し、平成14年策定の改修年次計画に基づき、小規模な修繕は行ってきたが、老朽化に伴い平成18年度から大規模改修を実施している。
--------	---	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
根拠は？

福祉センターは、昭和57年に開設され、社会福祉協議会の所有となっており、建設費について、一部船舶振興会の補助受けてはいるが、建設費の大半を市が負担した。老朽化してきたことから、平成14年、改修年次計画を策定、逐次、小規模修繕を実施し、平成18年度から平成24年度までの7年に渡り大規模改修を実施することになった。福祉センターは、高齢者・障がい福祉の増進とともに、広く地域福祉活動を担う福祉関係団体にその活動拠点を提供する意義は大きく、市が施設の大規模改修に伴う費用を負担することは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
根拠は？

市が福祉センターの建設費の大半を負担してきた点、準「公の施設」であり、社会福祉協議会のほか、江別市子ども発達支援センター、地域福祉を担う民生委員児童委員連絡協議会、保護司会、高齢者クラブ、母子会への活動拠点の提供とともに、各種ボランティア団体の活動に最低必要な場を提供しており、これら活動を支えていることから、貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
根拠は？

今後、最低10年間は、屋上防水を実施することなく、総合福祉センターの耐用年数が延長された。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
根拠は？

今後、最低10年間は、屋上防水を実施することなく、総合福祉センターの耐用年数が延長された。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
根拠は？

現状の維持管理に努める。